

# 完了後の評価個表

|      |     |
|------|-----|
| 整理番号 | 6-1 |
|------|-----|

|                       |   |        |                     |
|-----------------------|---|--------|---------------------|
| 事業名                   | 民有林治山事業<br>(地すべり防止)   | 都道府県名  | 千葉県                 |
| 事業実施地区名               | 細野(ほその)   | 事業計画期間 | 昭和38年度～平成16年度(42年間) |
| 関係市町村名                | 鴨川市   | 事業実施主体 | 千葉県                 |
| 完了後経過年数               | 5年  | 管理主体   | 千葉県                 |
| 事業の概要・目的              | <p>当地区はJR安房鴨川駅より西北西約10kmにあり、千葉県南部の地すべり多発地帯内に位置する。地質は中新統の保田層群を中心とし、嶺岡層群、安房層群の天津層が占めており、構造運動による破砕を受け、脆弱で風化が進んでいる。</p> <p>このため、当地区では台風や梅雨の豪雨等に起因する小規模な地すべりが多発し、人家や道路等に被害を与え、地域住民の生活を脅かしていた。</p> <p>このような状況から、地元からの強い要請を受け、昭和37年度に地すべり防止区域に指定し、同年から、生活基盤の保全を目的として地すべり防止事業に着手したものである。</p> <p>地すべり防止区域面積は298.64haである。</p> <p>・主な実施内容：谷止工 43基 床固工 36基 護岸工 1172.3m<br/>                 流路工 535.2m 土留工 2342.8m 水路工 L = 11442.3m<br/>                 暗渠工 9211.2m</p> <p>・総事業費：1,763,400千円</p> |        |                     |
| 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化 | <p>当事業の費用対効果分析における主な効果は、土砂流出防止便益であり、溪間工により地すべり末端部の侵食を防ぐとともに、地すべりブロックにおける排水を目的とした暗渠工等により、地すべりの滑動を抑え、集落、県・市道、農地等の保全に寄与する効果である。なお、地すべり防止区域内において直接影響を受ける人家戸数は43戸で、道路整備も進み、農地の利用状況に変化がみられるものの、防止区域全体としては、情勢に大きな変化はみられない。</p> <p>なお、平成22年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>総便益(B) 8,288,448千円<br/>                 総費用(C) 4,360,815千円</p> <p>分析結果(B/C) 1.90</p>   |        |                     |
| 事業効果の発現状況             | <p>当事業は、山地災害防止機能の維持・増進を主目的とする事業であり、事業を実施したことにより、地すべりブロックが滑動しなくなったことで山地災害による被害の軽減が図られ、地すべりによる影響を受けるおそれのあった集落・農地・県道及び市道等の安全・安心が確保されている。</p>   |        |                     |
| 事業により整備された施設の管理状況     | <p>当該事業によって整備した治山施設については、千葉県が定期的に地元関係機関と連携して地すべり状況の現地調査を行い、補修等が必要となった箇所を確認している。</p> <p>その他、台風後などに適宜目視による点検を実施している。</p>  |        |                     |
| 事業実施による環境の変化          | <p>工事の実施によって不安定土塊の安定化も図られ、緑化も進んでいる。また、地すべり防止施設は主に水を排除する工事であり、地中に潜る構造物が多いこと、溪間工等治山施設も規模が小さいことから、環境への影響は小さいと考えられる。</p>  |        |                     |

|                  |  |
|------------------|--|
| <p>社会経済情勢の変化</p> | <p>当事業は、山地災害の防止を目的とする事業であり、地すべりブロックの安定が図られたことにより、人家や農地・県道・市道等の安全が確保されたことから、地域住民の生活に安心をもたらしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な保全対象：人家 43戸、農地 10ha、道路 0.7km</li> </ul>   |
| <p>今後の課題等</p>    | <p>地すべり防止施設の機能維持のため、地元関係機関と連携して、点検、補修等の維持管理を継続して実施していく必要がある。また、本地区は脆弱な地質であるため、依然として小規模地すべりが発生し、或いは今後引き続き発生する危険性が高いことから、地域住民の協力を得て常に状況を把握し、必要に応じて新たな地すべり防止事業の実施を検討する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の意見：地すべり状況の現地調査の際に、地域住民から「大雨が降っても安心できる。」「山や土砂の動きが見られなくなった。」等の意見を聞いている。</li> </ul>  |
| <p>評価結果</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：地すべり対策等の調査を実施した結果、地すべり滑動が活発な状況であることが判明した。地すべり斜面では多量の不安定土砂が堆積しており、豪雨等による再滑動が懸念され、また、地すべり防止区域に隣接する集落等への土砂災害の恐れがあったことから、事業の必要性が認められる。</li> <li>・効率性：地すべり対策工の計画実施に当たっては、適用する対策工法を比較検討し現地に応じた最も効果的かつ効率的な工種・工法で実施しており、コスト縮減に努め総事業費の削減が図られたことから、事業の効率性が認められる。</li> <li>・有効性：地すべりブロックの安定が図られたことにより、集落等への土砂災害が解消され生活環境が整うとともに、円滑な産業活動が行われており、事業の有効性が認められる。</li> </ul> |

整理番号

6

便 益 集 計 表  
( 治山事業 )

事業名：地すべり防止

千葉県

施行箇所：細野

(単位：千円)

| 大 区 分     | 中 区 分    | 評価額   | 備 考 |
|-----------|----------|---|-----|
| 山地保全便益    | 土砂流出防止便益 | 8,287,302                                       |     |
|           | 土砂崩壊防止便益 | 1,146   |     |
| 総 便 益 (B) |          | 8,288,448                                       |     |
| 総 費 用 (C) |          | 4,360,815                                       | 千円  |
| 費用便益費     |          | $B \div C = \frac{8,288,448}{4,360,815} = 1.90$ |     |

# 評価箇所概要図

|      |   |
|------|---|
| 整理番号 | 6 |
|------|---|

千葉県

|     |                 |     |    |
|-----|-----------------|-----|----|
| 事業名 | 民有林治山事業(地すべり防止) | 地区名 | 細野 |
|-----|-----------------|-----|----|

